

# Outline 学校

## 学習指導要領との対応 (平成29年)

### 小学校

理科 B「生命・地球」  
3年(1)身の回りの生物  
4年(2)季節と生物  
5年(2)動物の誕生  
6年(3)生物と環境

### 図画工作

3・4年 A「表現」  
5・6年 A「表現」

1・2年 生活

### 中学校

理科 第2分野  
3年(7)自然と人間

### 美術

1年 A「表現」  
2・3年 A「表現」

### 小・中学校

総合的な学習の時間

# ネストトラップで発見！ いきもののにぎわい

～Program1・Program2～

人工的に設置した竹筒に作られるハチの巣の観察を通して、生物の多様性、食う-食われるの関係、寄生、競争など生きもの同士のつながりを学び、生きものは他の生き物と関わり合いながら生活していることを体感する。

自分たちの身の回りにも多様な生きものが暮らしていること、それらは巧みに命をつなげていることに気づく。

そして人と生きもの関係について考える。

## 巣作り編

### 実施時期

4～6月上旬

### 所要時間

70～120分

### 内容

- ・ Program1  
巣箱の工作・設置
- ・ Program4

## 調査編

### 実施時期

7～11月

### 所要時間

50～85分

### 内容

- ・ Program2  
巣箱の回収  
竹筒の調査

## Point

- ・ 授業時間や学年に合わせて、内容を変更しましょう。
- ・ 設置から回収までは2～3ヶ月以上空けます。  
(1年以上設置していても問題ありません)
- ・ 生きものの季節変化や多様性に重きをおく場合、設置を夏までに行い11月頃に調査をすれば、生物相の変化やトラップに隠れている越冬昆虫を観察することができます。
- ・ 設置から回収まではトラップを「展示」として活用し、他学年の子が見られるようにすると効果的です。(Program4)